

第4期・第1回豊和村づくり協議会報告

2021年7月11日

豊和コミュニティーセンター

<報告事項>

1 小学校入学支援金

○新入学児童7名に支払い。合計14万円。

2 耕作放棄地復元助成金

○風の丘農園さんから申請があり支払い

○対象耕作放棄地

・飯塚3137番(2081㎡) 31000円(15000/反)

・飯塚3136番(2392㎡) 23000円(10000/反)

3 「おひさまだより」第8号の発行・・・1000部印刷、

4 新「村づくり基金」協力事業者

○SBIエナジー株式会社、年4万円。

<協議事項>

1 夏休みこども教室について

① 経緯

○「夏休みや冬休み等にもあると良い」という父兄の要望を受け止め、昨年3月の協議会で協議してプロジェクトを組んで夏休みから実施することとなった。4月の総会にも報告・承認された。

○5月5日に第1回準備会を立ち上げ、4回の相談会を重ねて実行委員会を立ち上げた。

○父兄を対象にアンケートを実施・・・別紙参照

○希望者を募集中

② 概要

○実施期間は、7月26日～8月31日までで土日以外。

○場所は、豊和コミュニティーを使用。グランドゴルフ場も活用。

○スタッフは、豊和の放課後子ども教室の先生や経験者3名、有償ボランティア13名、学生ボランティアも募集中。

○運営は実行委員会が中心となるが、こどもを預ける父兄も会員(会費1000円)となってもらい一緒に支えてもらう。協働組的組織として運営する。

③ 運営経費と村づくり基金からの助成金について

- 運営経費・・・80～90万を想定
 - スタッフ費用・・・約73万円
 - 保険料・・・約3万円
 - 冷房費用
 - 備品購入費
 - 雑費
- 収入・・・預かるこどもを20人として
 - 会費 2万円(1000×20人)
 - 利用料金 16～18万円
- 60万～70万円が不足、不足分は村づくり基金で助成

***助成することで決定**

2 「とくしまる」への協力について

- 協議会が行った地域アンケートでも「買い物が不便」という声が多くあり、「移動スーパー」の必要性が見えてきた。
- 昨年、「地域づくり協力隊」を活用しての取り組みを市と相談して進めたが、断念した。
- イナゲヤさんが、「とくしまる」の運行を計画、豊和地区内も対象として利用者を募集しているので、協議会として募集に対して協力をしたい。具体的にはチラシの配布での協力。

***協議会も連絡先となつてとくしまるのチラシを回覧板で配布する。**

3 開畑の不法投棄の処理について

- 数年前から車のコンテナや家電、産廃等が不法投棄されている。投棄している人は分かっており、環境保全会として直に連絡して回収を依頼、市や県も指導しているが改善されていない。
- 不法投棄者、地権者、いずれも改善の意向はない。
- このまま放置しておくとも更に被害が大きくなることも考えられるので環境保全会として撤去する意向だが、処理費用を基金から出してもらえないかという要望が出ている。金額的には24万円程度の見込み。作業は保全会役員がボランティアで実施。

***処理をした場合、処分費用を基金から助成する。**

4 農山漁村振興交付金を活用した地域活性化対策への応募について

- 匝瑳市と一緒に協議体をつくって申請をしていきたい。
- 募集(追加)があれば申請する方向で市とは調整済み。

***調整を進めることとした。**

5 その他

- ① 次回協議会 9月26日 午後2時